

2018年度ゴールデンウィーク期間のご利用実績

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一)は、本日、2018年度のゴールデンウィーク期間(4月27日~5月6日)のご利用実績を発表しました。

1) ご利用実績

■国内線

	提供座席数	総旅客数	利用率
全路線計	113,580席 (昨年比115%)	104,304人 (昨年比115%)	91.8%
2017年度	98,640席	91,091人	92.3%

■国際線

	提供座席数	総旅客数	利用率
全路線計	73,440席 (昨年比107%)	65,081人 (昨年比108%)	88.6%
2017年度	68,400席	60,276人	88.1%

2) 搭乗日別ご利用実績

■国内線

	4/27(金)	4/28(土)	4/29(日)	4/30(月)	5/1(火)	5/2(水)	5/3(木)
下り	91.3%	93.9%	91.6%	92.3%	93.0%	92.2%	94.8%
上り	90.2%	90.8%	86.6%	89.4%	89.8%	91.1%	92.6%

	5/4(金)	5/5(土)	5/6(日)
下り	91.2%	90.6%	93.3%
上り	91.3%	92.9%	96.0%

■国際線

	4/27(金)	4/28(土)	4/29(日)	4/30(月)	5/1(火)	5/2(水)	5/3(木)
下り	94.1%	95.8%	94.4%	94.4%	92.6%	92.8%	92.1%
上り	90.8%	88.1%	81.6%	86.7%	74.4%	75.8%	87.1%

	5/4(金)	5/5(土)	5/6(日)
下り	83.8%	80.1%	84.3%
上り	90.4%	95.5%	97.1%

[備考]

<国内線> 下り:大阪(関西)・沖縄(那覇)・仙台・札幌(新千歳)・東京(成田)出発の便
上り:大阪(関西)・沖縄(那覇)・仙台・札幌(新千歳)・東京(成田)到着の便

<国際線> 下り:大阪(関西)・沖縄(那覇)・仙台・札幌(新千歳)・東京(羽田)出発の便
上り:大阪(関西)・沖縄(那覇)・仙台・札幌(新千歳)・東京(羽田)到着の便

3) トピックス

国内線、国際線合わせて、全体の供給量が前年比 112%に対し、ご利用人数は 112%と、ほぼ平年並み、好調に推移しました。

<国内線>

(期間中のピーク)下りは5月3日(木)、上りは5月6日(日)

北海道や東北方面が特に好調で、期間を通してほぼ満席となりました。また、3月1日に就航した大阪(関西)―新潟線についても、関空発、新潟発ともに平均を上回る搭乗率になりました。

<国際線>

(期間中のピーク)下りは4月28日(土)、上りは5月6日(日)

各路線とも好調で多くの便で満席近くのご利用を頂きました。4月26日(木)に沖縄(那覇)―高雄線が新たに就航したことも追い風となり、台湾方面が特に好調でした。

以上

Peach について(www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014年7月には那覇空港、2017年9月には仙台空港を関西空港に次ぐ拠点空港としました。現在、20機の機材で、国内線15路線、国際線15路線に就航し1日あたり最大約100便以上を運航するとともに、13,000人以上のお客様にご利用いただいております。2018年8月1日からは大阪(関西)―釧路線を就航させるほか、2018年度内に新千歳空港を拠点空港とする予定です。